

令和7年度 施策事前評価シート

施策責任者 所属	福祉保険課		電話番号		直通	989-5512
基本目標	いきいきとした暮らしを支える 優しいながいずみ					
政策	認め合い支え合うまちの実現			施策分野	地域福祉	
施策分野 の総事業費	前年度 決算額	141,771	千円	今年度 予算額	138,329	千円

施策の進捗状況

	成果指標名称	年度	現状値	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	単位	進捗 評価
1	普段生活する中で特に 悩みや不安を感じてい ない市民の割合	目標値		15.0	15.2	15.4	15.7	16.0	%	X
		実績値	14.8	19.4	47.0	41.4	40.7			
2	ボランティア活動等 をしている市民の割 合	目標値		9.1	9.3	9.5	9.8	10.0	%	A
		実績値	8.7	6.5	10.0	9.5	11.4			
3		目標値								
		実績値								
4		目標値								
		実績値								
				総合評価			B：順調			

事前分析

施策分野における これまでの 取り組みの概要	低所得世帯上下水道料金の助成、成年後見の推進、福祉団体等への補助、戦没者追悼事業の実施、地域福祉計画の策定、福祉施策推進・評価委員会事務局、福祉会館指定管理委託、福祉会館の施設整備、地域福祉基金の活用、法定外援護費の実施、重層的支援体制整備事業の推進
施策分野における 背景・環境 及び抱えている課題	・住民の家族構成、心身状態、経済状況、価値観やニーズが多様化し、支援が必要な者（世帯）の課題が複雑かつ複合的になっているため、町では令和6年度から重層的支援体制整備事業を開始した。 ・認知症や精神障がいなどで判断能力が不十分な方の権利や財産が侵害されることのないよう、成年後見の推進が求められている。 ・福祉会館の大浴場については、人件費や光熱費の高騰により利用料だけでは賄うことができず、社協の持ち出しが年々増加している。また、設備の維持管理についても、施設の老朽化に伴う修繕も増加している。 ・成果目標1について、現状値及び令和3年については、地域福祉計画策定に伴うアンケート結果を使用した。令和4年以降は住民意識調査のアンケート結果を使用したことにより、目標値との間に差が生じている。
施策分野における 改革・改善内容 及び今後の見通し	・避難行動要支援者情報の精度を高めるため個別避難計画の登録様式を変更し、改めて関係機関に理解を求めるとともに、個別計画の管理方法についても協議していく。 ・「低所得世帯上下水道料金助成事業」は、低所得世帯の経済的負担の軽減を目的としているが、物価高騰対策として例年、国が実施している給付金の支給を鑑みると、制度の重複や公平性の観点から事業の見直しを含め、事業内容を検討する。 ・福祉会館の大浴場については、料金の見直し・事業継続の是非について検討を進めていく。